

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

# 射影曲面と余次元2の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2015年6月23日(火)

数理解析研究所, RIMS 研究集会 部分多様体論と種々の幾何構造  
(佐々木武氏(神戸大学), 古畑仁氏(北海道大学)との共同研究)

# 内容

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

- 1 序
- 2 射影曲面
- 3 アファイン超曲面はめ込み
- 4 展開可能曲面
- 5 余次元 2 の中心アファインはめ込み

# 射影超曲面と余次元2の中心アファインはめ込み

射影曲面と余次元2の前正規化されたBlaschkeはめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元2の中心アファインはめ込み

射影超曲面:  $(n+1)$ 次元実射影空間内の $n$ 次元部分多様体  
↪ 局所的に $(n+2)$ 次元アファイン空間へ持ち上げる  
↪ 余次元2の中心アファインはめ込みを考える

↕

- 原点を固定しておく
- 横断的ベクトル場の1つは位置ベクトル場
- もう1つは?
  - 「前正規化された」横断的ベクトル場を用いる  
(K. Nomizu-T. Sasaki 1993)

## 問題

射影超曲面

↕?

余次元2の中心アファインはめ込み

# 射影曲面と対称2形式

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

$\mathbf{P}^3$ : 3次元実射影空間

$z: M \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 射影曲面

$(x, y)$ : 局所座標

$$z(x, y) = [z^1(x, y), z^2(x, y), z^3(x, y), z^4(x, y)]$$

$\mathbf{R}^4$  への写像ともみなす

仮定:  $z_{xy}, z_x, z_y, z$  は  $M$  上 1 次独立

$$\begin{cases} z_{xx} = lz_{xy} + az_x + bz_y + pz \\ z_{yy} = mz_{xy} + cz_x + dz_y + qz \end{cases}$$

と表すことができる

対称 2 形式:

$$\psi := ldx^2 + 2dxdy + mdy^2$$

# 射影曲面と Euclid 空間内の曲面

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 射影曲面

$$z(x, y) = [z^1(x, y), z^2(x, y), z^3(x, y), z^4(x, y)]$$

$\psi = ldx^2 + 2dxdy + mdy^2$ : 対称 2 形式

$z$  は  $\mathbf{R}^3$  内の曲面と対応する

$z^1 \neq 0$  のとき

$$\hat{z} := \left( \frac{z^2}{z^1}, \frac{z^3}{z^1}, \frac{z^4}{z^1} \right)$$

## 命題

$\psi$  は  $\mathbf{R}^3$  内の曲面  $\hat{z}$  の第二基本形式と共形的

# 命題の証明

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

## 証明

次の場合を考える:

$$z = [\lambda, \lambda F], \quad \lambda : M \rightarrow \mathbf{R} \setminus \{0\}, \quad F : M \rightarrow \mathbf{R}^3$$

$z_{xx}$  に対する式より

$$\begin{aligned} & (\lambda_{xx}, \lambda_{xx}F + 2\lambda_x F_x + \lambda F_{xx}) \\ &= l(\lambda_{xy}, \lambda_{xy}F + \lambda_x F_y + \lambda_y F_x + \lambda F_{xy}) + a(\lambda_x, \lambda_x F + \lambda F_x) \\ & \quad + b(\lambda_y, \lambda_y F + \lambda F_y) + p(\lambda, \lambda F) \end{aligned}$$

よって

$$2\lambda_x F_x + \lambda F_{xx} = l(\lambda_x F_y + \lambda_y F_x + \lambda F_{xy}) + a\lambda F_x + b\lambda F_y$$

# 命題の証明 (続き)

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容  
序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

## 証明 (続き)

$\lambda \neq 0$  だから

$$\det \begin{pmatrix} F_{xx} \\ F_x \\ F_y \end{pmatrix} = l \det \begin{pmatrix} F_{xy} \\ F_x \\ F_y \end{pmatrix}$$

$z_{yy}$  に対する式についても同様に計算する  
一方  $\hat{z}$  の第二基本形式の  $\|F_x \times F_y\|$  倍は

$$\det \begin{pmatrix} F_{xx} \\ F_x \\ F_y \end{pmatrix} dx^2 + 2 \det \begin{pmatrix} F_{xy} \\ F_x \\ F_y \end{pmatrix} dx dy + \det \begin{pmatrix} F_{yy} \\ F_x \\ F_y \end{pmatrix} dy^2$$

↪ 不定値なものを考えることができる

↪ 漸近線座標を選ぶことができる:  $l = m = 0$

# 積分可能条件

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

## 命題

不定値射影曲面に対する積分可能条件は

$$\begin{cases} L_y = -2bc_x - cb_x \\ M_x = -2cb_y - bc_y \\ bM_y + 2Mb_y + b_{yyy} = cL_x + 2Lc_x + c_{xxx} \end{cases}$$

ただし

$$\exists \theta \text{ s.t. } a = \theta_x, \quad d = \theta_y$$

$$\begin{cases} L = \theta_{xx} - \frac{1}{2}\theta_x^2 - b\theta_y - b_y - 2p \\ M = \theta_{yy} - \frac{1}{2}\theta_y^2 - c\theta_x - c_x - 2q \end{cases}$$



# 正準系

射影曲面と余次元 2 の前正  
規化された  
Blaschke はめ  
込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超  
曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中  
心アフライン  
はめ込み

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 不定値射影曲面

$(x, y)$ : 漸近線座標

$$\begin{cases} z_{xx} = \theta_x z_x + bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + \theta_y z_y + qz \end{cases}$$

$\lambda : M \rightarrow \mathbf{R} \setminus \{0\}$

$z = \lambda w$  とおくと

$$z_x = \lambda_x w + \lambda w_x, \quad z_{xx} = \lambda_{xx} w + 2\lambda_x w_x + \lambda w_{xx}$$

$\lambda = e^{\frac{\theta}{2}}$  とすると

$$\begin{cases} z_{xx} = bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + qz \end{cases}$$

としてよい (正準系)

# 座標変換

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

正準系に対して座標変換

$$u = f(x), \quad v = g(y)$$

を考える

$$\lambda : M \rightarrow \mathbf{R} \setminus \{0\}$$

$$z = \lambda w \text{ とおくと}$$

$$z_x = \lambda_x w + \lambda w_u f', \quad z_{xx} = \lambda_{xx} w + 2\lambda_x w_u f' + \lambda w_{uu} (f')^2 + \lambda w_u f''$$

$$C \in \mathbf{R} \setminus \{0\}$$

$$z = \frac{C}{\sqrt{f'g'}} w \text{ とおくと正準系}$$

$$\begin{cases} w_{uu} = \bar{b}w_v + \bar{p}w \\ w_{vv} = \bar{c}w_u + \bar{q}w \end{cases}$$

を得る

# 変換則, 射影計量, Darboux 3 次形式

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容  
序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

## 命題

$$\bar{b} = b \frac{g'}{(f')^2}, \quad \bar{p} = \frac{1}{(f')^2} \left( p - \frac{1}{2} b \frac{g''}{g'} + \{f; x\} \right)$$

$$\bar{c} = c \frac{f'}{(g')^2}, \quad \bar{q} = \frac{1}{(g')^2} \left( q - \frac{1}{2} c \frac{f''}{f'} + \{g; y\} \right)$$

ただし  $\{f; x\}, \{g; y\}$  はそれぞれ  $f, g$  の Schwarz 微分:

$$\{f; x\} := \frac{1}{2} \left( \frac{f''}{f'} \right)' - \frac{1}{4} \left( \frac{f''}{f'} \right)^2 = \frac{1}{2} \frac{f'''}{f'} - \frac{3}{4} \left( \frac{f''}{f'} \right)^2$$

## 系

- $bcdxdy$  は不変量 (射影計量)
- $bdx^3 + cdy^3$  の共形類は不変量 (Darboux 3 次形式)

# Darboux 3 次形式, 射影計量が消える場合

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容  
序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

- $b = c = 0$  と仮定する  
積分可能条件より

$$p_y = 0, q_x = 0$$

$f_1(x), f_2(x): f_{xx} = p(x)f$  の 1 次独立な解

$g_1(y), g_2(y): g_{yy} = q(y)g$  の 1 次独立な解

このとき

$$z = [f_1g_1, f_1g_2, f_2g_1, f_2g_2] \quad (2 \text{ 次曲面})$$

- $c = 0$  と仮定する  
積分可能条件より

$$(-b_y - 2p)_y = 0, (-2q)_x = 0, bM_y + 2Mb_y + b_{yyy} = 0$$

変換則より  $q = 0$  としてよい

更に計算すると

$$z = A(x) + yB(x) \quad (\text{線織面})$$

# Gauss-Weingarten の公式

$F: M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+1}$ : 超曲面はめ込み

$\xi: F$  に沿うベクトル場

$(F, \xi)$ : アファイン超曲面はめ込み

$\Updownarrow$  def.

$$\forall x \in M, \xi(x) \in F_* T_x M$$

$D: \mathbf{R}^{n+1}$  の標準平坦接続

$X, Y \in \mathfrak{X}(M)$

$\implies$  Gauss-Weingarten の公式:

$$\begin{cases} D_X F_* Y = F_* \nabla_X Y + h(X, Y) \xi \\ D_X \xi = -F_* S X + \tau(X) \xi \end{cases}$$

( $\xi$ : 横断的ベクトル場,  $\nabla$ : 誘導接続,  $h$ : アファイン基本形式)  
 $S$ : アファイン型作用素,  $\tau$ : 横断的接続形式)

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

# 基本的性質, 等積はめ込み, Blaschke はめ込み

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフィン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフィンはめ込み

## 命題

- $\nabla$  は捩れをもたないアフィン接続
  - $h$  は対称テンソル
  - $\omega$ :  $D$  に関して平行な体積要素  
 $\theta$ : はめ込みの誘導する体積要素
- $$\theta(X_1, \dots, X_n) = \omega(F_*X_1, \dots, F_*X_n, \xi) \quad (X_1, \dots, X_n \in \mathfrak{X}(M))$$
- $$\implies \nabla_X \theta = \tau(X)\theta$$

## 命題

- $h$  は非退化であると仮定する ( $\xi$  の選び方に依存しない)
- $\exists \xi$  s.t.  $\tau = 0$  (等積はめ込み)
  - $\omega_h$ :  $h$  に関する体積要素
- $$\implies \exists \xi$$
- s.t.
- $\tau = 0$
- かつ
- $\theta = \omega_h$
- (Blaschke はめ込み)
- 
- (符号を除いて一意)

# アフライン超球面

$F : M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+1}$ : Blaschke はめ込み

$S$ : アフライン型作用素

$F$ : アフライン超球面

$\Updownarrow$  def.

$S$ : スカラー作用素

- $S \neq 0$  のとき固有,  $S = 0$  のとき非固有
- 2次超曲面はアフライン超球面
- 固有アフライン球面: Tzitzéica 方程式などに対応

$$\varphi_{xy} = e^{2\varphi} + e^{-\varphi}$$

- 非固有アフライン球面: Liouville 方程式などに対応

$$\varphi_{xy} = e^{2\varphi}$$

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

# 射影空間内のアフィン球面

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフィン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフィンはめ込み

$z: M \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 不定値射影曲面

$z$ : アフィン球面

$\Downarrow$  def.

$\exists$  アフィン球面に対応する  $\mathbf{R}^3$  内の曲面

正準系を考える

$$\begin{cases} z_{xx} = bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + qz \end{cases}$$

$$z = [e^{\frac{\varphi}{2}}, e^{\frac{\varphi}{2}} F] \quad (\varphi: M \rightarrow \mathbf{R}, F: M \rightarrow \mathbf{R}^3)$$

命題

$$z: \text{アフィン球面} \iff \exists k \in \mathbf{R} \text{ s.t. } b_y = b\varphi_y, c_x = c\varphi_x, \varphi_{xy} = bc + ke^{-\varphi}$$

特に

$$F: \text{固有アフィン球面} \iff k \neq 0$$



# 展開可能性

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

$z, w : M \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 不定値射影曲面

$w$ :  $z$  に展開可能

$\Updownarrow$  def.

$w$ :  $z$  と同じ  $b, c$  をもつ正準系で表される

線織面は非自明に展開可能 (展開可能曲面)

$z$  が線織面ではない展開可能曲面であると仮定する  
 $p, q$  がそれぞれ

$$\bar{p} = p + \lambda, \quad \bar{q} = q + \mu$$

と変形できるとする  
積分可能条件より

$$\lambda_y = 0, \quad \mu_x = 0, \quad b\mu_y + 2\mu b_y = c\lambda_x + 2\lambda c_x$$

$\lambda, \mu$  は高々3つの径数を用いて表されることが分かる

# 非固有アファイン球面の場合

線織面ではない場合は  $k = 0$  または  $k \neq 0$  は不変  
線織面ではない展開可能な非固有アファイン球面を考える

$$k = 0, b = c = e^\varphi, \varphi_{xy} = e^{2\varphi}$$

としてよい  
このとき

$$\varphi = \frac{1}{2} \log \frac{f'g'}{(f(x) + g(y))^2}$$

更に計算すると

$$\begin{cases} \bar{p} = \frac{1}{2}\varphi_{xx} + \frac{1}{4}\varphi_x^2 - \frac{1}{2}\varphi_y e^\varphi + \frac{c_1 f^2 + c_2 f + c_3}{f'} \\ \bar{q} = \frac{1}{2}\varphi_{yy} + \frac{1}{4}\varphi_y^2 - \frac{1}{2}\varphi_x e^\varphi + \frac{c_1 g^2 - c_2 g + c_3}{g'} \end{cases}$$

$(c_1, c_2, c_3 \in \mathbf{R})$

非固有アファイン球面となるのは  $c_1 = c_2 = c_3 = 0$  のとき

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

# 固有アファイン球面の場合

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

線織面ではない展開可能な固有アファイン球面を考える

$$k \neq 0, b = c = e^\varphi, \varphi_{xy} = e^{2\varphi} + ke^{-\varphi}$$

としてよい

このとき

$$\mu_y + 2\mu\varphi_y = \lambda_x + 2\lambda\varphi_x$$

簡単のため  $\lambda, \mu$  が独立な場合を考える

$\varphi$  は定数となることが分かる

$$b = c = 1, \varphi = 0$$

としてよい

このとき

$$\bar{p} = c_1x + c_2, \bar{q} = c_1y + c_3 \quad (c_1, c_2, c_3 \in \mathbf{R}) \quad (\text{一致曲面})$$

特に  $c_1 = c_2 = c_3 = 0$  のとき

$$F = (X, Y, Z), (X^2 + Y^2)Z = 1$$

# はめ込みに対する公式

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

$F: M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+2}$ : 余次元 2 の中心アファインはめ込み

$$\eta := \sum_{i=1}^{n+2} x_i \frac{\partial}{\partial x_i} \quad (\text{位置ベクトル場})$$

$$\forall x \in M, \eta_{F(x)} \pitchfork F_* T_x M$$

$\xi$ :  $F$  に沿うベクトル場 s.t.

$$\forall x \in M, \xi(x) \pitchfork (\langle \eta_{F(x)} \rangle_{\mathbf{R}} \oplus F_* T_x M)$$

$D$ :  $\mathbf{R}^{n+2}$  の標準平坦接続

$$X, Y \in \mathfrak{X}(M)$$

$$\Rightarrow \begin{cases} D_X \eta = F_* X \\ D_X F_* Y = F_* \nabla_X Y + h(X, Y) \xi + T(X, Y) \eta \\ D_X \xi = -F_* S X + \tau(X) \xi + \rho(X) \eta \end{cases} \quad (*)$$

# 基本的性質

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

## 命題

- $\nabla$  は捩れをもたないアファイン接続
- $h, T$  は対称テンソル
- $\omega: D$  に関して平行な体積要素

$$\theta(X_1, \dots, X_n) := \omega(F_*X_1, \dots, F_*X_n, \xi, \eta) \\ (X_1, \dots, X_n \in \mathfrak{X}(M))$$

$$\implies \nabla_X \theta = \tau(X)\theta$$

## 定理 (K. Nomizu-T. Sasaki 1993)

- $\text{rank } h \geq 2$   
 $T = \exists \lambda h \iff F(M) \subset \exists$  アファイン超平面
- $h \equiv 0, n \geq 2$   
 $\implies F(M) \subset \exists 0$  を通るアファイン超平面

# 等積はめ込み, Blaschke はめ込み, 前正規化

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

$F : M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+2}$ : 余次元 2 の中心アファインはめ込み

$$\begin{cases} D_X \eta = F_* X \\ D_X F_* Y = F_* \nabla_X Y + h(X, Y) \xi + T(X, Y) \eta \\ D_X \xi = -F_* S X + \tau(X) \xi + \rho(X) \eta \end{cases} \quad (*)$$

## 命題

$h$  は非退化であると仮定する ( $\xi$  の選び方に依存しない)

- $\exists \xi$  s.t. (i):  $\tau = 0$  (等積はめ込み)
- $\omega_h$ :  $h$  に関する体積要素  
 $\implies \exists \xi$  s.t. (i) かつ (ii):  $\theta = \omega_h$  (Blaschke はめ込み)  
( $\eta$  方向と符号を除いて一意)
- $\exists \xi$  s.t. (i), (ii) かつ  $\text{tr}_h((X, Y) \mapsto T(X, Y) + h(SX, Y)) = 0$   
(前正規化された Blaschke はめ込み)  
(符号を除いて一意)

# 平面曲線の持ち上げの場合

$\nabla, h, T$  の計算

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

$\mathbf{P}^2$  内の正則曲線:

$$z(t) = [z_1(t), z_2(t), z_3(t)], \quad |z, z', z''| := \begin{vmatrix} z_1 & z_1' & z_1'' \\ z_2 & z_2' & z_2'' \\ z_3 & z_3' & z_3'' \end{vmatrix} \neq 0$$

$z$  は線形常微分方程式

$$z''' + p_1 z'' + p_2 z' + p_3 z = 0$$

をみたす

$\xi = z''$  とする

(\*) の第 2 式より

$$\nabla \frac{d}{dt} \frac{d}{dt} = 0, \quad h \left( \frac{d}{dt}, \frac{d}{dt} \right) = 1, \quad T \left( \frac{d}{dt}, \frac{d}{dt} \right) = 0$$

# 平面曲線の持ち上げの場合

$S, \tau, \rho$  および  $\omega_h, \theta$  の計算

また

$$\xi' = -p_2 z' - p_1 \xi - p_3 z$$

(\*) の第3式より

$$S \left( \frac{d}{dt} \right) = p_2, \quad \tau \left( \frac{d}{dt} \right) = -p_1, \quad \rho \left( \frac{d}{dt} \right) = -p_3$$

ここで

$$\omega_h \left( \frac{d}{dt} \right) = 1$$

一方

$$\theta \left( \frac{d}{dt} \right) = |z', \xi, z| = |z, z', z''|$$

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み



# 平面曲線の持ち上げの場合

Laguerre-Forsyth の標準形

さらに

$$T\left(\frac{d}{dt}, \frac{d}{dt}\right) + h\left(S\left(\frac{d}{dt}\right), \frac{d}{dt}\right) = p_2$$

よって

$$\text{tr}_h\{(X, Y) \mapsto T(X, Y) + h(SX, Y)\} = p_2$$

したがって

$$\tau = 0, \omega_h = \theta, \text{tr}_h\{(X, Y) \mapsto T(X, Y) + h(SX, Y)\} = 0$$

$\Updownarrow$

$$z''' + p_3 z = 0, |z, z', z''| = 1$$

第 1 式は Laguerre-Forsyth の標準形

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

# 主定理

射影曲面と余次元 2 の前正規化された Blaschke はめ込み

藤岡敦

内容  
序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$ : 不定値射影曲面

$F : M \rightarrow \mathbf{R}^4$ : 前正規化された Blaschke はめ込みとしての  $z$  の持ち上げ

$\text{Ric}$ :  $\nabla$  に関する Ricci テンソル

次の Einstein 条件を考える:

$$\text{Ric} = kh \quad (k \in \mathbf{R})$$

定理 (F.-H. Furuhata-T. Sasaki)

$F$ : Einstein 条件をみたす



$z$ : アフライン球面に展開可能

射影曲面と余次元 2 の前正  
規化された  
Blaschke はめ  
込み

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超  
曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中  
心アフライン  
はめ込み

ご清聴ありがとうございました